

スマートシティの実現に向けた技術提案書

提出年月日： 2021 年 12 月 8 日

提案団体名： 株式会社ヘキメン

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
デジタルツインの構築と、その活用をサポートするプラットフォームを展開します。DXが進み大量のデータが蓄積していく中で、デジタルツインを活用し実世界における価値評価や施策の個別最適化を行います。現在は3Dデータや人流データを組み合わせて屋外広告の視認性を推定し、媒体価値を評価するSaaSプロダクトを開発中です。今後は不動産、太陽光発電、防災、防犯などのユースケースを開拓し横展開していきます。	(5)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
3Dデータと様々なデータを掛け合わせたシミュレーションを行い、都市開発における視認性などの定量評価を行います。屋外広告媒体をはじめとした、多様なユースケースにおける課題の解決を目指します。 ①視認エリアの算出：任意の設置物について、3Dデータを用いて場所による見えやすさをスコアリング化し、ヒートマップ状に図示します ②トラフィックの推定：視認エリアにまたがる移動滞在データを抽出し、時間帯別/属性別に視認エリアに滞在している人数を推定します ③一人当たり接触時間算出：出発地、経由地、目的地を指定し、移動ルート上にある設置物の接触時間を算出します ④総接触時間算出：一人当たりの接触時間に道路交通量データを掛け合わせ、総接触時間を算出します	(シ)

(3) その他

【ユースケース】

屋外広告：屋外広告の視認範囲特定、媒体接触者数や接触時間の推定
 不動産：日当たりシミュレーション
 防犯：防犯カメラの視認範囲のマッピング、歩行者から見た防犯カメラ設置箇所の視認性評価
 防災：避難経路の誘導標識の最適な設置箇所の特定
 太陽光パネル：発電量や、反射光による光害のシミュレーション

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先（電話及びメール）

部局名	担当者	連絡先（電話）	連絡先（メール）
役員	鈴木俊也	080-7351-6649	shsuzuki@hekimen.jp

